

おひさま新聞

2025. 5. 26

NO.8

社会生活との関わり編

毎年お世話になっている地域サポーターの羽賀さんお世話をしてくださっている玉ねぎが大きく成長したとのことで、4、5歳クラスでふれあい広場へ『玉ねぎ掘り』に行ってきました。玉ねぎの抜き方を教えて貰い、「うんとこしょ！どっこいしょ！」と言いながら玉ねぎを抜いていました。今年は大きくて豊作だったので、大きな玉ねぎを見て子どもたちはとっても嬉しく、何本も抜いていました。羽賀さんにお礼の挨拶をした後は、4オクラスは図書館へ、5オクラスは消防署に行きました。

このように、身近な社会との触れ合いを通して、地域への親しみや公共の場でのマナーを覚えると共に、社会のつながりを感じ、大切に思う気持ちを育んでいけるといいですね。



「玉ねぎのここ（葉の付け根）を持って抜くんですよ」と教えて頂き、頑張って抜いていましたよ。大きな玉ねぎに大興奮の子どもたちでした。

3台のパトカーを見せてもらっていると「どのパトカーがかっこいいか」という話になり、みんなが選んだのは…クラウンのパトカーでしたよ。警察官の方にお礼を言って帰りました。

消防署では、消防車に積んであるホースや自動車も切れるカッターを見せてもらいました。じっくり見せて頂き、クイズまでしてもらいました。

園に帰ってから借りた本を見ました。
自分で借りた本を1ページ1ページじっくりと見ていました。

